

## 10 産業廃棄物処理施設について

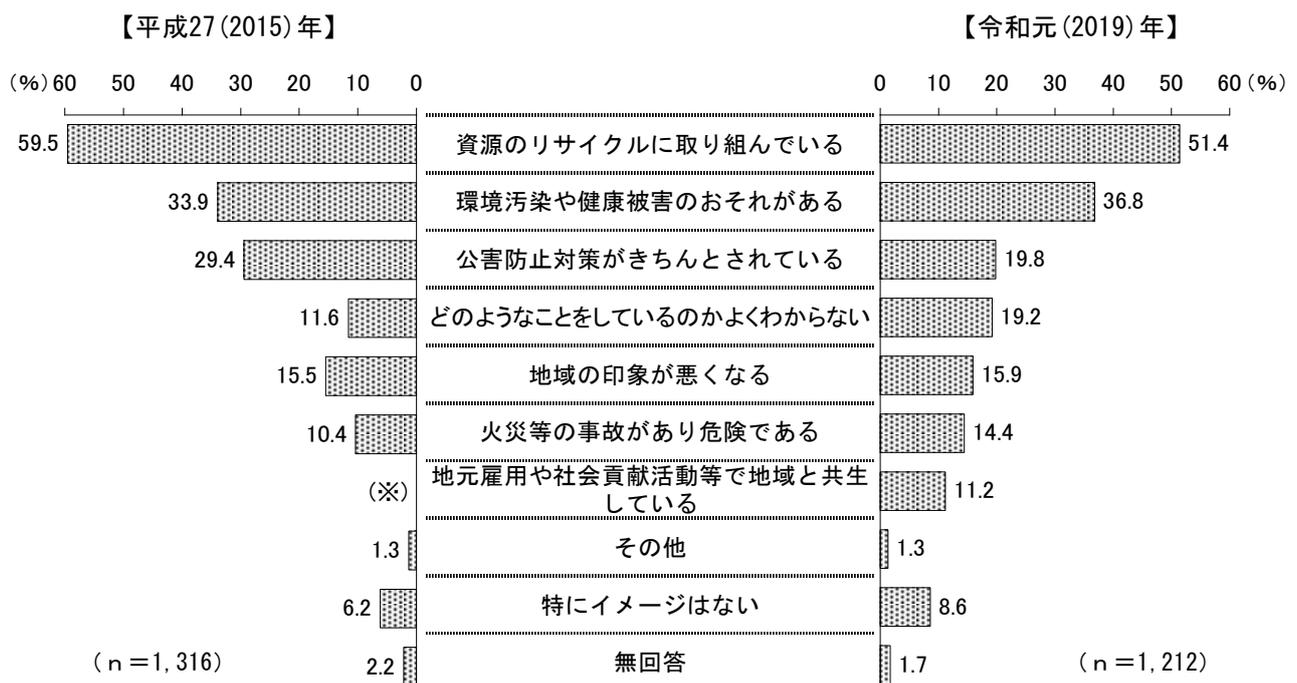
### (1) 産業廃棄物処理施設のイメージ

問29 あなたは、産業廃棄物処理施設にどのようなイメージがありますか。

次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,212]

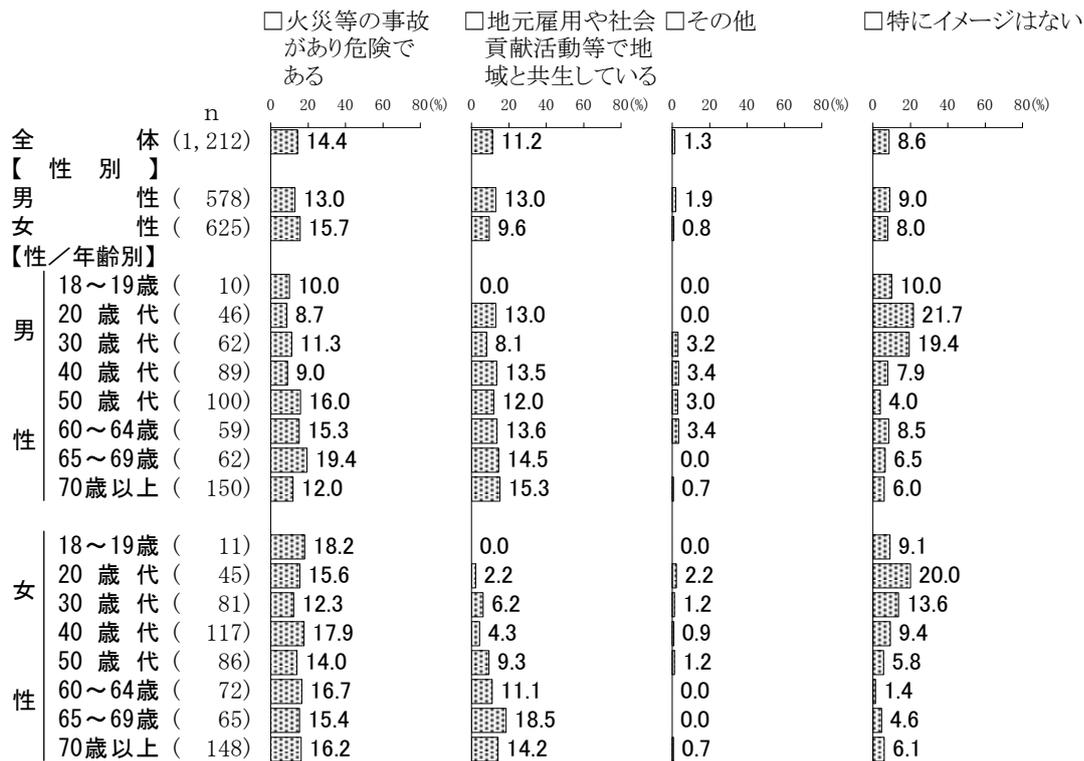
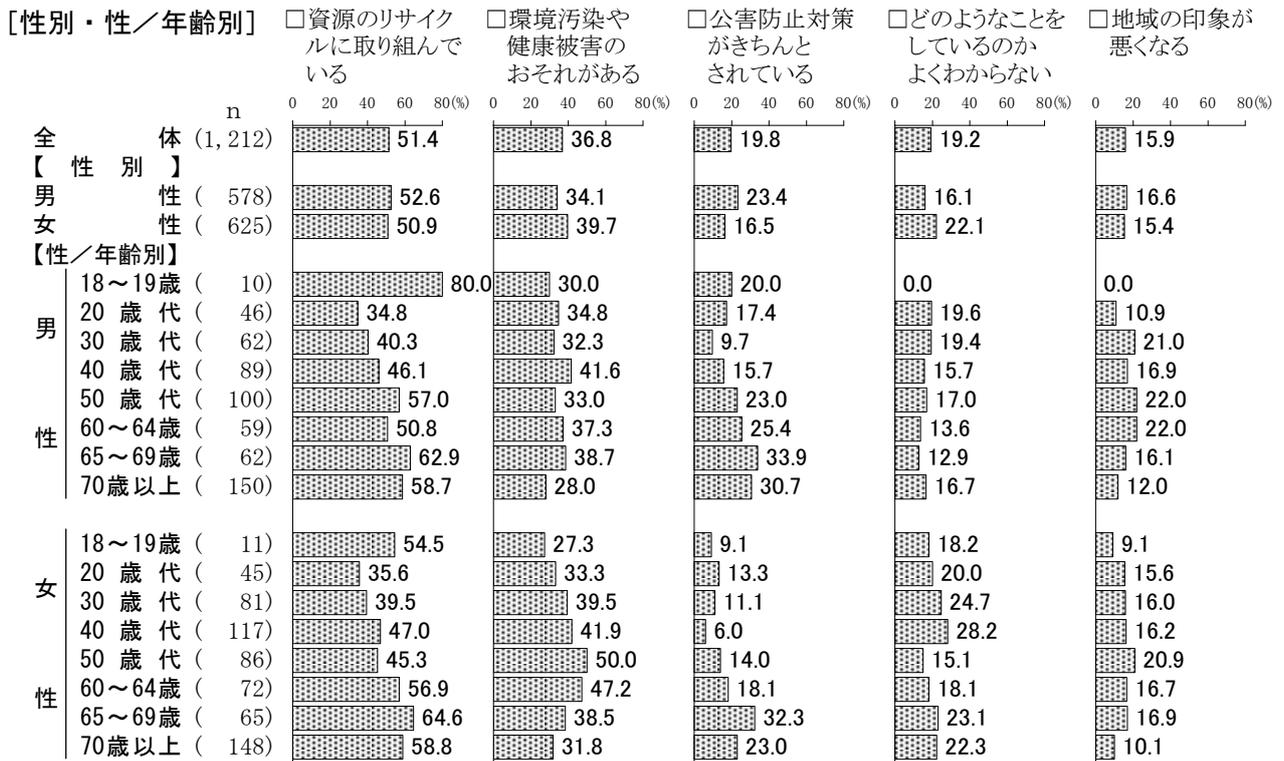
1	公害防止対策がきちんとされている	19.8%
2	資源のリサイクルに取り組んでいる	51.4
3	地元雇用や社会貢献活動等で地域と共生している	11.2
4	環境汚染や健康被害のおそれがある	36.8
5	火災等の事故があり危険である	14.4
6	地域の印象が悪くなる	15.9
7	どのようなことをしているのかよくわからない	19.2
8	その他	1.3
9	特にイメージはない	8.6
	(無回答)	1.7



(※)「地元雇用や社会貢献活動等で地域と共生している」は、今回調査で追加した選択肢である。

全体でみると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」(51.4%)が5割を超えて最も高く、次いで「環境汚染や健康被害のおそれがある」(36.8%)、「公害防止対策がきちんとされている」(19.8%)、「どのようなことをしているのかよくわからない」(19.2%)、「地域の印象が悪くなる」(15.9%)の順となっている。

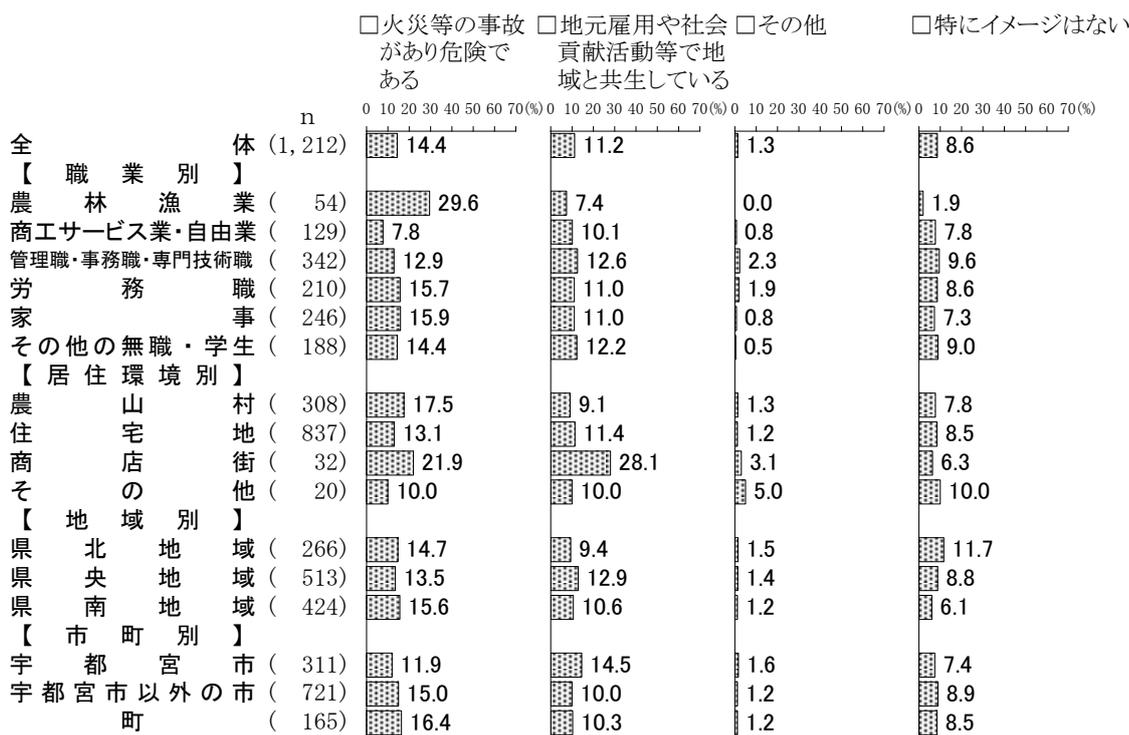
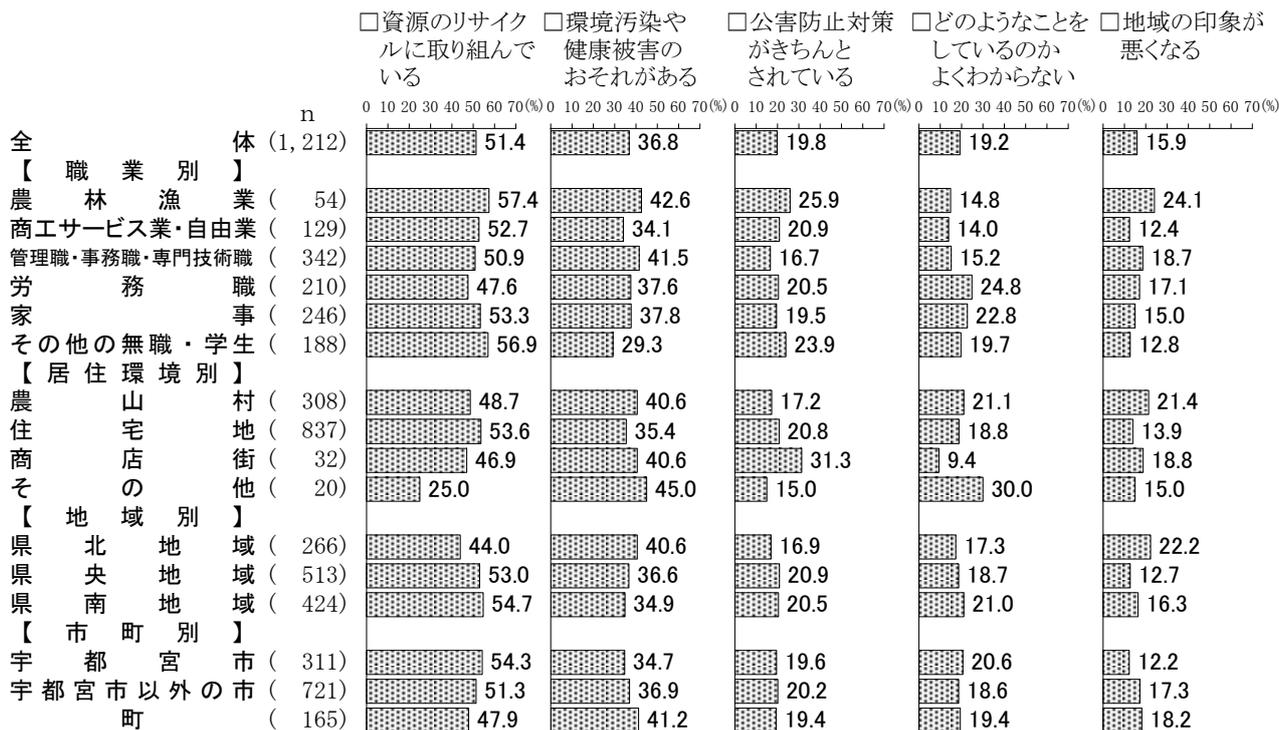
平成27(2015)年の調査結果との比較は、選択肢の追加があるため参考にとどまるが、「どのようなことをしているのかよくわからない」が7.6ポイント増加している。一方、「公害防止対策がきちんとされている」が9.6ポイント、「資源のリサイクルに取り組んでいる」が8.1ポイント、それぞれ減少している。



性別で見ると、「公害防止対策がきちんとされている」では〈男性〉(23.4%)が〈女性〉(16.5%)より6.9ポイント高くなっている。「どのようなことをしているのかよくわからない」では〈女性〉(22.1%)が〈男性〉(16.1%)より6.0ポイント高くなっている。「環境汚染や健康被害のおそれがある」では〈女性〉(39.7%)が〈男性〉(34.1%)より5.6ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」では〈女性65～69歳〉が64.6%、〈男性65～69歳〉が62.9%と高くなっている。「環境汚染や健康被害のおそれがある」では〈女性50歳代〉が50.0%、〈女性60～64歳〉が47.2%と高くなっている。「公害防止対策がきちんとされている」では〈男性65～69歳〉が33.9%、〈女性65～69歳〉が32.3%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別で見ると、「地域の印象が悪くなる」では〈農林漁業〉が24.1%と高くなっている。「火災等の事故があり危険である」では〈農林漁業〉が29.6%と高くなっている。

居住環境別で見ると、「公害防止対策がきちんとされている」では〈商店街〉が31.3%と高くなっている。「地元雇用や社会貢献活動等で地域と共生している」では〈商店街〉が28.1%と高くなっている。

地域別で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」では〈県南地域〉が54.7%と高くなっている。「地域の印象が悪くなる」では〈県北地域〉が22.2%と高くなっている。

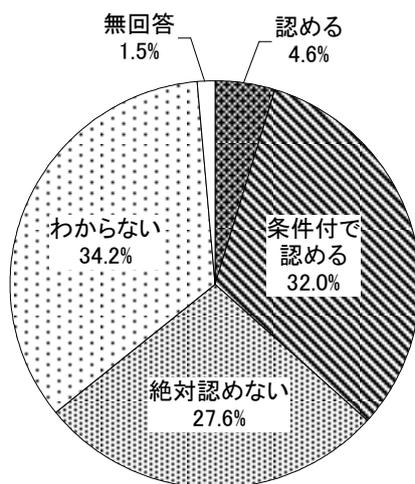
市町別で見ると、「資源のリサイクルに取り組んでいる」では〈宇都宮市〉が54.3%と高くなっている。「環境汚染や健康被害のおそれがある」では〈町〉が41.2%と高くなっている。

## (2) 近隣の産業廃棄物処理施設についての考え

問30 もし、あなたの家の近くに産業廃棄物処理施設ができるとした場合、認めることができますか。次の中から1つ選んでください。

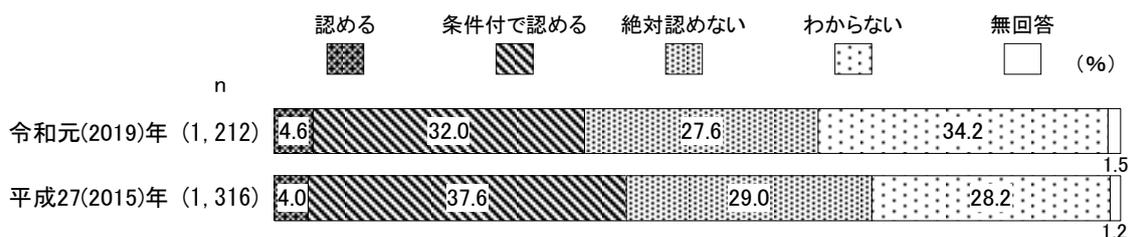
[n=1,212]

1 認める	4.6%	3 絶対認めない	27.6%
2 条件付で認める	32.0	4 わからない	34.2
		(無回答)	1.5



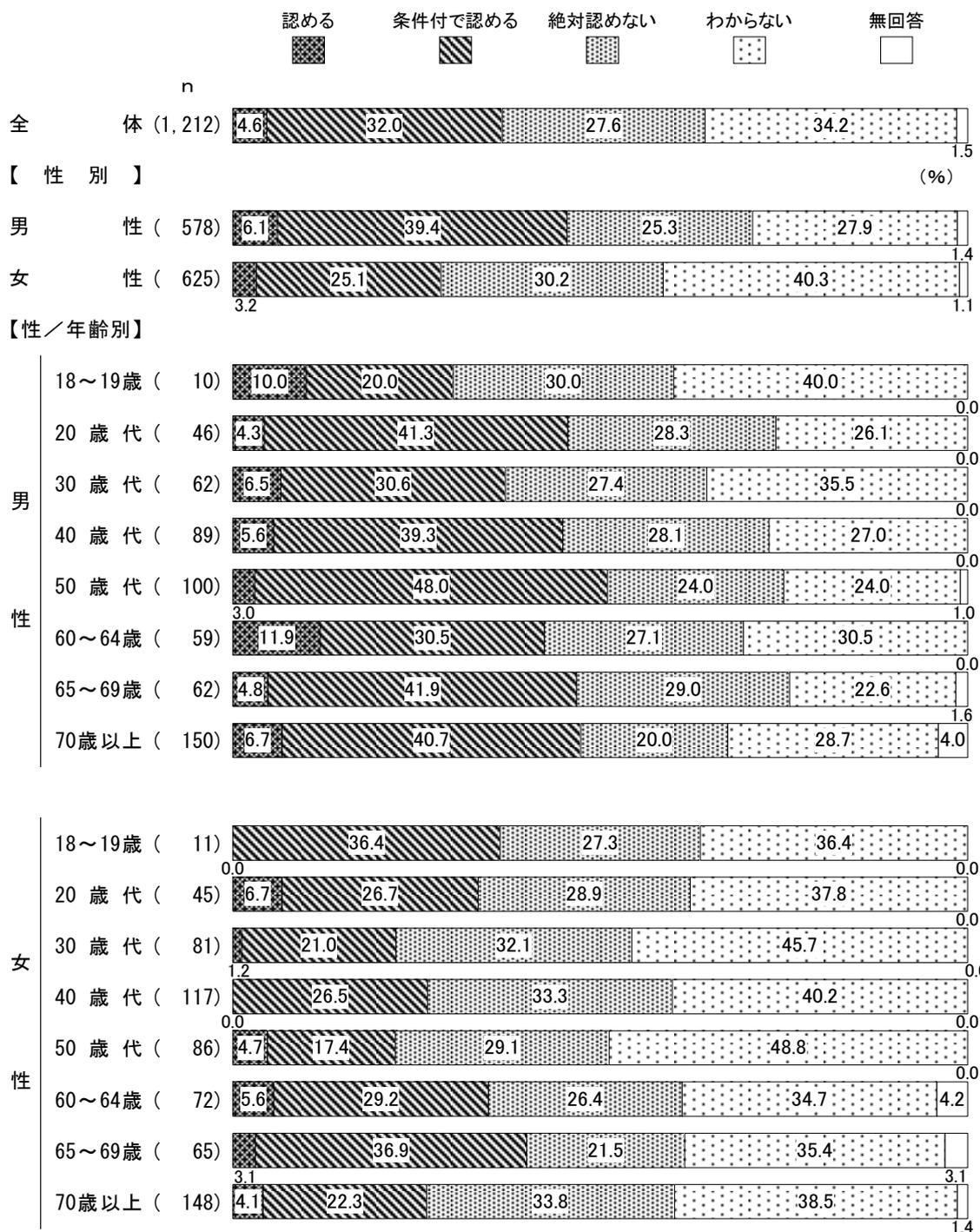
(n=1,212)

全体でみると、「認める」(4.6%)は1割に満たない。「条件付で認める」(32.0%)は3割を超えており、「絶対認めない」(27.6%)は3割近くとなっている。



平成27(2015)年の調査結果と比較すると、「条件付で認める」が5.6ポイント減少している。一方、「わからない」が6.0ポイント増加している。

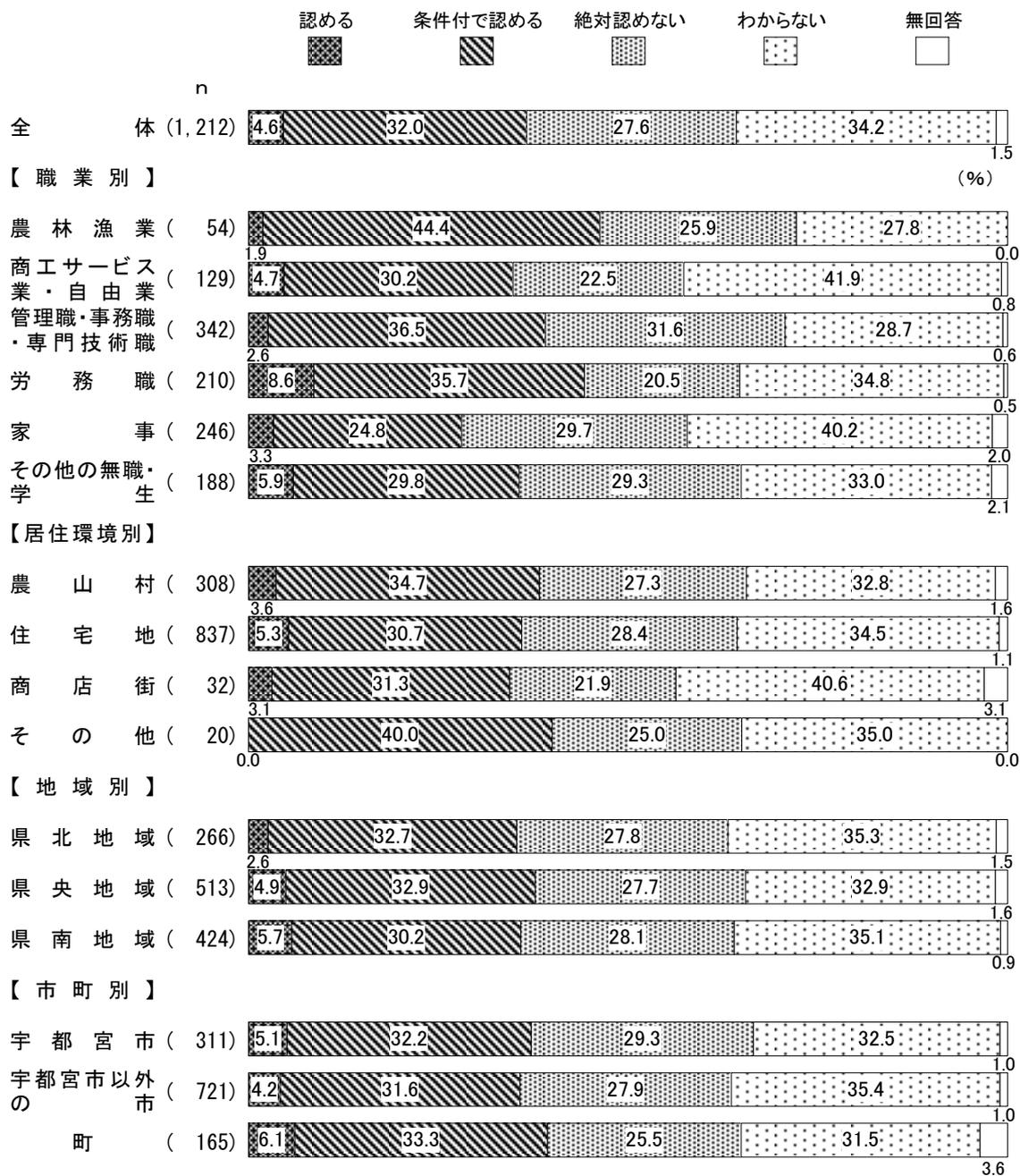
[性別・性／年齢別]



性別でみると、「条件付で認める」では〈男性〉(39.4%)が〈女性〉(25.1%)より14.3ポイント高くなっている。「絶対認めない」では〈女性〉(30.2%)が〈男性〉(25.3%)より4.9ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「条件付で認める」では〈男性50歳代〉が48.0%と高くなっている。「絶対認めない」では〈女性70歳以上〉が33.8%、〈女性40歳代〉が33.3%、〈女性30歳代〉が32.1%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「条件付で認める」では〈農林漁業〉が44.4%と高くなっている。「絶対認めない」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が31.6%と高くなっている。

居住環境別でみると、「条件付で認める」では〈農山村〉が34.7%と高くなっている。

地域別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

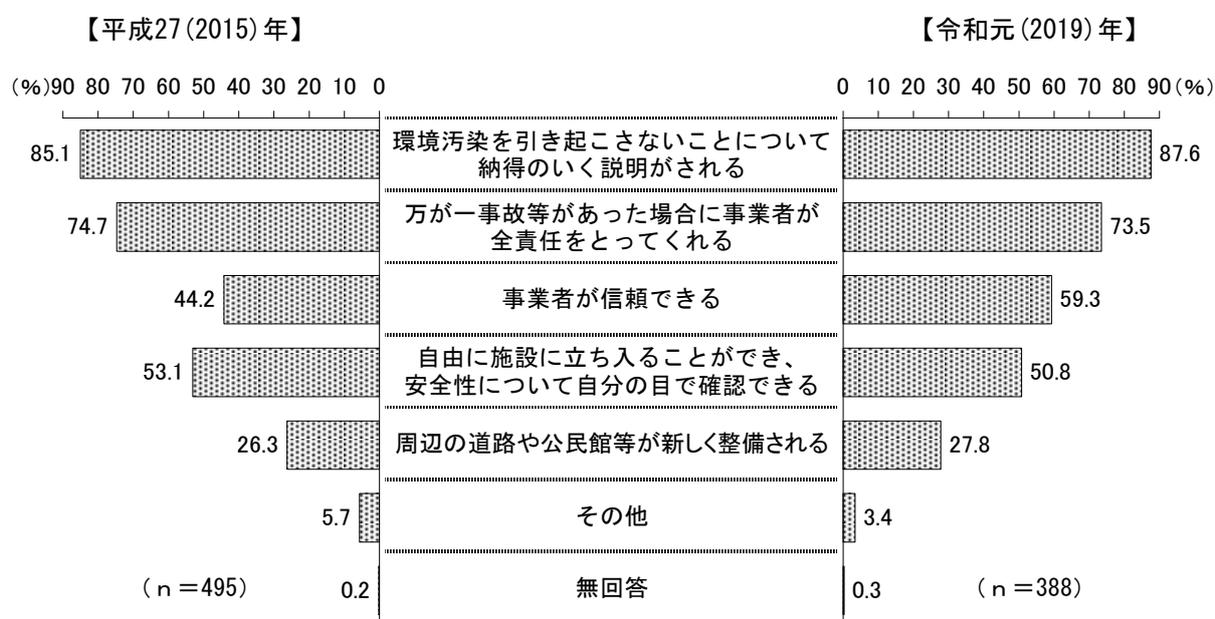
## (2-1) 産業廃棄物処理施設を認める条件

(問30で選択肢「条件付で認める」を選んだ方のみお答えください)

問30-1 どのような条件がそろえば認めることができますか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=388]

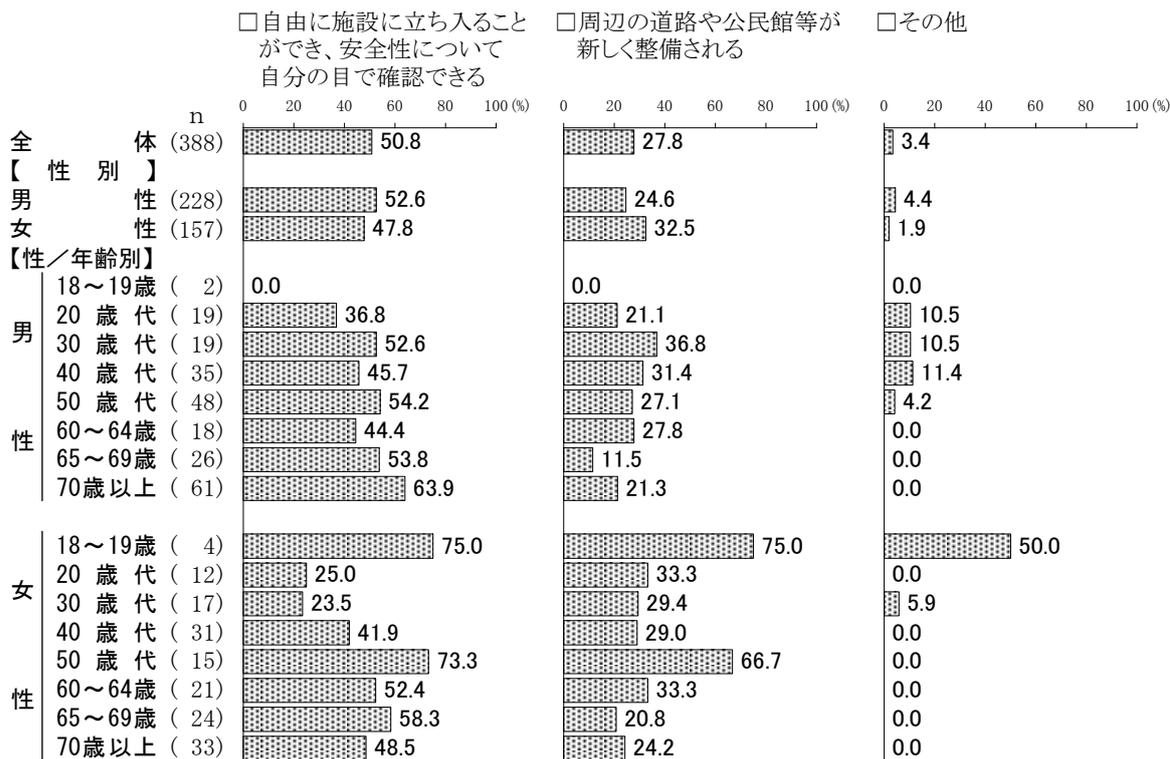
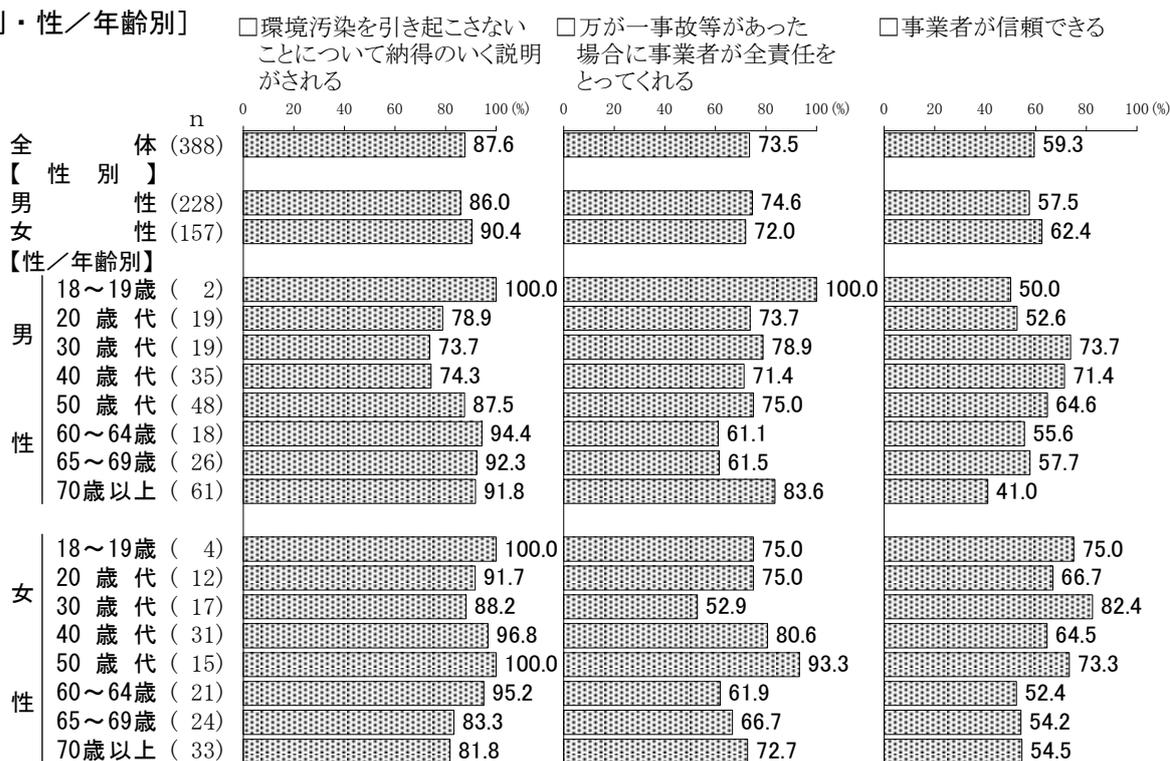
1	環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる	87.6%
2	万が一事故等があった場合に事業者が全責任をとってくれる	73.5
3	自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる	50.8
4	周辺の道路や公民館等が新しく整備される	27.8
5	事業者が信頼できる	59.3
6	その他	3.4
	(無回答)	0.3



全体でみると、「環境汚染を引き起こさないことについて納得のいく説明がされる」(87.6%)が9割近くで最も高く、次いで「万が一事故等があった場合に事業者が全責任をとってくれる」(73.5%)、「事業者が信頼できる」(59.3%)、「自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる」(50.8%)、「周辺の道路や公民館等が新しく整備される」(27.8%)の順となっている。

平成27(2015)年の調査結果と比較すると、「事業者が信頼できる」が15.1ポイント増加している。

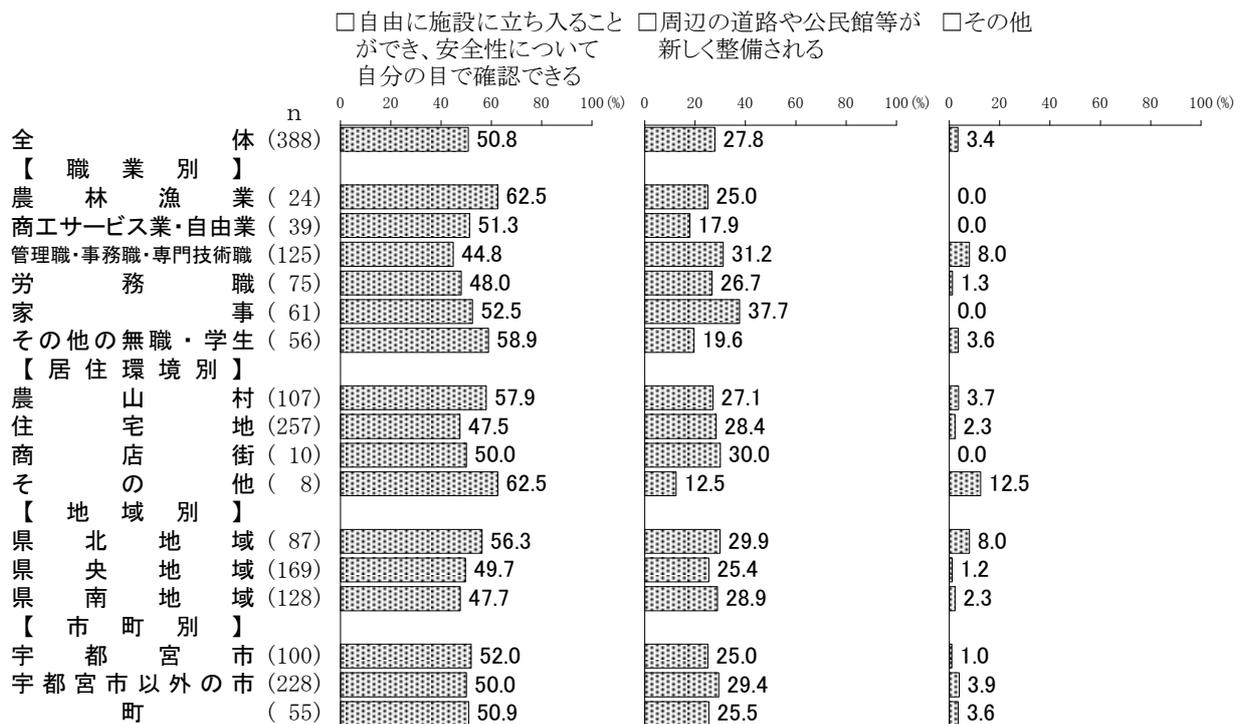
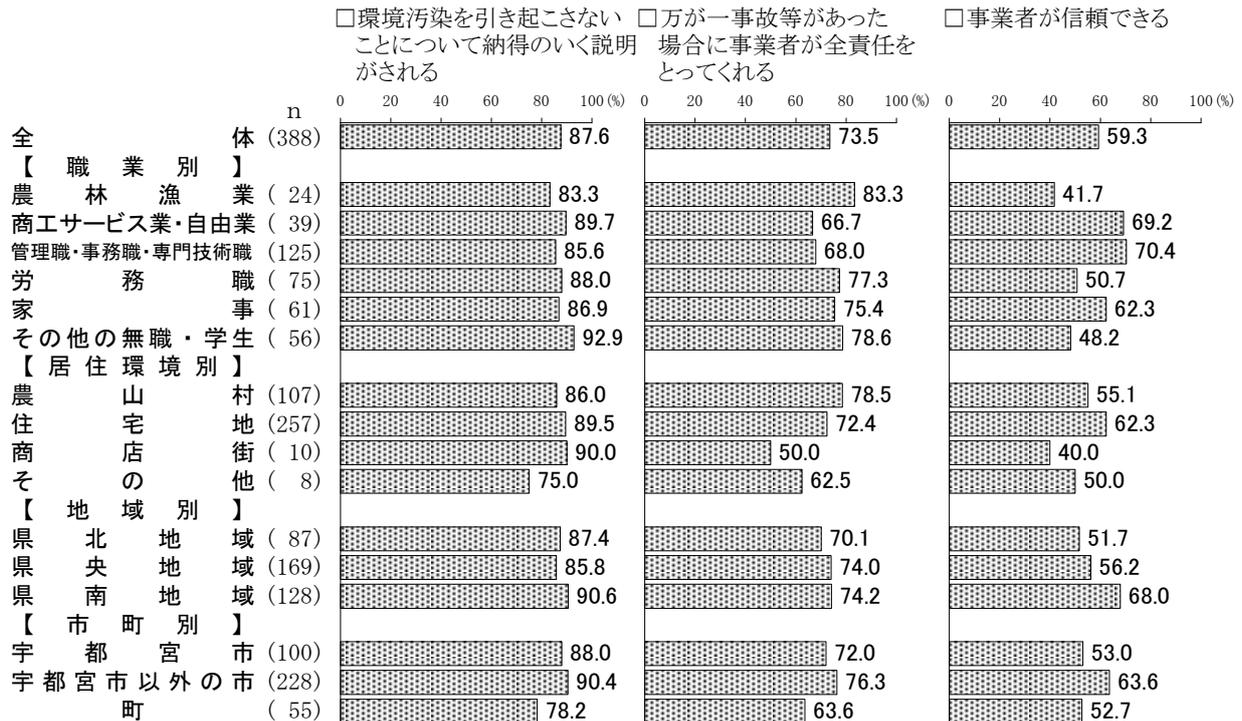
[性別・性／年齢別]



性別で見ると、「周辺の道路や公民館等が新しく整備される」では〈女性〉(32.5%)が〈男性〉(24.6%)より7.9ポイント高くなっている。「事業者が信頼できる」では〈女性〉(62.4%)が〈男性〉(57.5%)より4.9ポイント高くなっている。「自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる」では〈男性〉(52.6%)が〈女性〉(47.8%)より4.8ポイント高くなっている。

性／年齢別で見ると、「万が一事故等があった場合に事業者が全責任をとってくれる」では〈男性70歳以上〉が83.6%と高くなっている。「自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる」では〈男性70歳以上〉が63.9%と高くなっている。

[職業別・居住環境別・地域別・市町別]



職業別でみると、「事業者が信頼できる」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が70.4%、〈商工サービス業・自由業〉が69.2%と高くなっている。「周辺の道路や公民館等が新しく整備される」では〈家事〉が37.7%と高くなっている。

居住環境別でみると、「万が一事故等があった場合に事業者が全責任をとってくれる」では〈農山村〉が78.5%と高くなっている。「自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる」では〈農山村〉が57.9%と高くなっている。

地域別でみると、「事業者が信頼できる」では〈県南地域〉が68.0%と高くなっている。「自由に施設に立ち入ることができ、安全性について自分の目で確認できる」では〈県北地域〉が56.3%と高くなっている。

市町別でみると、「事業者が信頼できる」では〈宇都宮市以外の市〉が63.6%と高くなっている。